

経済制裁と健康に関するWMA決議の再確認に関するWMA決議

2011年10月、ウルグアイ、モンテビデオにおける第62回WMA総会で採択

WMAは、コートジボアールの指導者ローラン・バグボおよび同氏に関する個人およびバグボ政権の影響下にある2つの主要港を含めた関連組織に対する欧州連合（EU）による経済制裁に起因して、同国国民の健康に深刻な影響が懸念されるとの報道に対し深刻な憂慮を抱いている。欧州連合による制裁は、EU船籍の商船に対して先の2つの港との交易を厳しく禁じるものであり、それによって同国国民が必要とする救命医薬品の供給が途絶えることが懸念される。

WMA理事会は、**経済制裁と健康に関するWMA決議**によるところの次の立場を改めて表明する。

すべての人は健康である権利があり、
ジュネーブ条約（第4条約第23条、1949年）は、市民向け医薬品の自由通過を許
可しなければならないと定めている。

したがってWMAは、コートジボアール国民の生命と健康を保護するため、欧州連合に対してコートジボアール向け医薬品の供給を確保するための措置を直ちに採ることを、強く要請する。

★★★